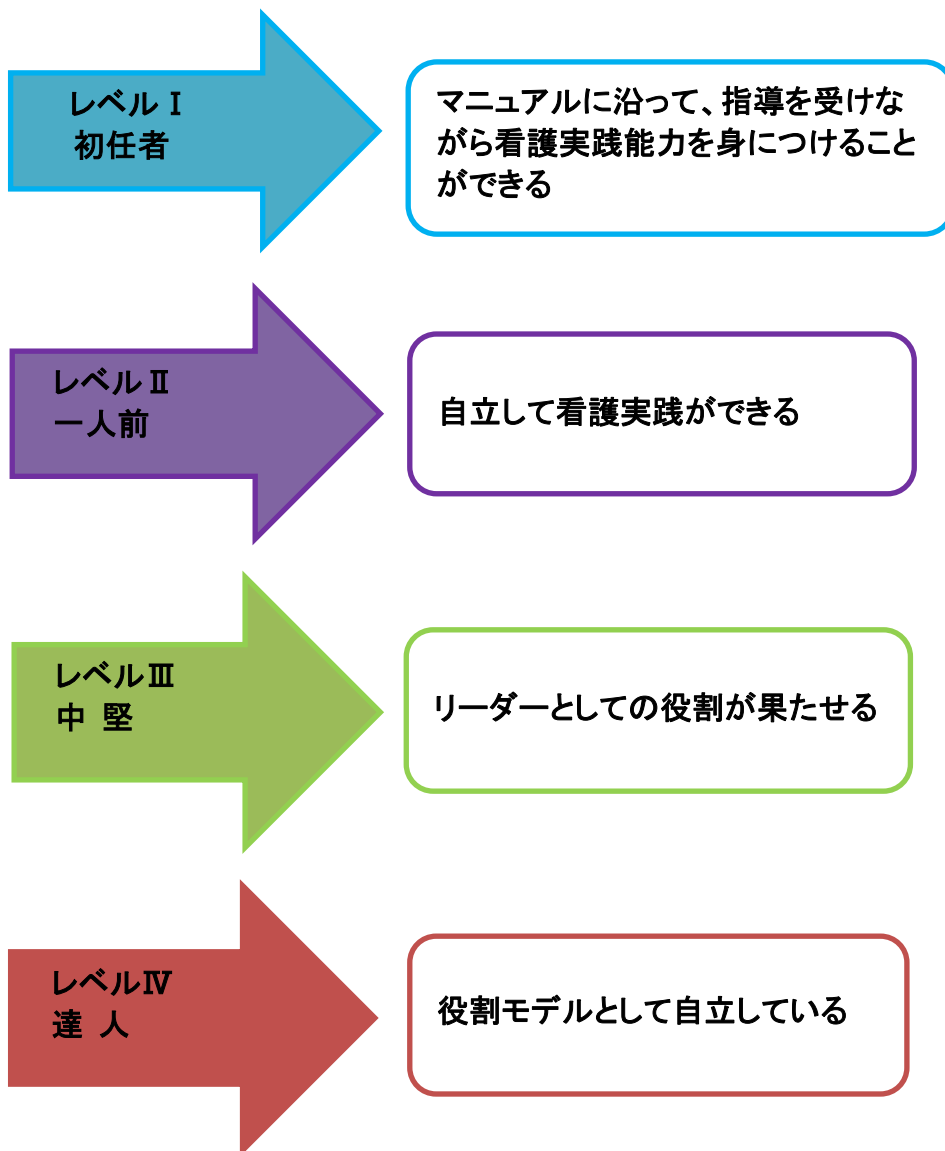
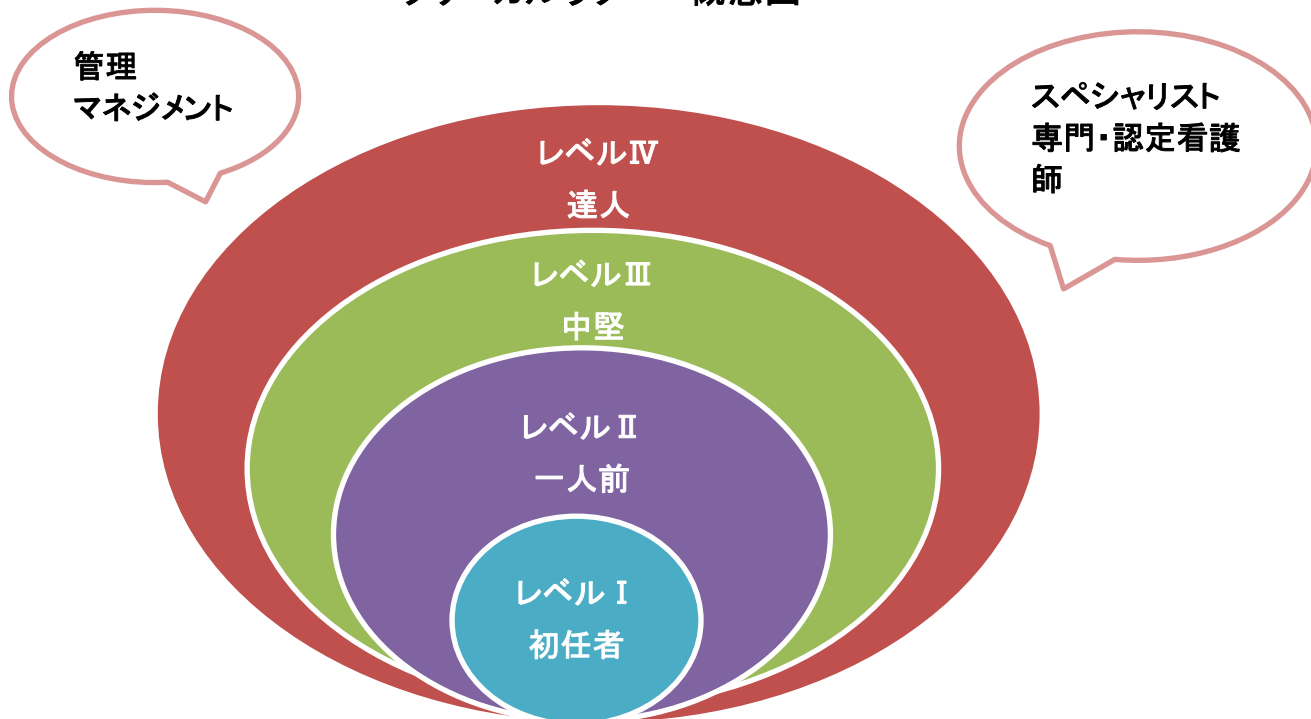


軽井沢町立国保軽井沢病院

看護師教育 クリニカルラダー



クリニカルリーダー 概念図



クリニカルラダーとは

臨床看護実践能力を段階的に示すもの。

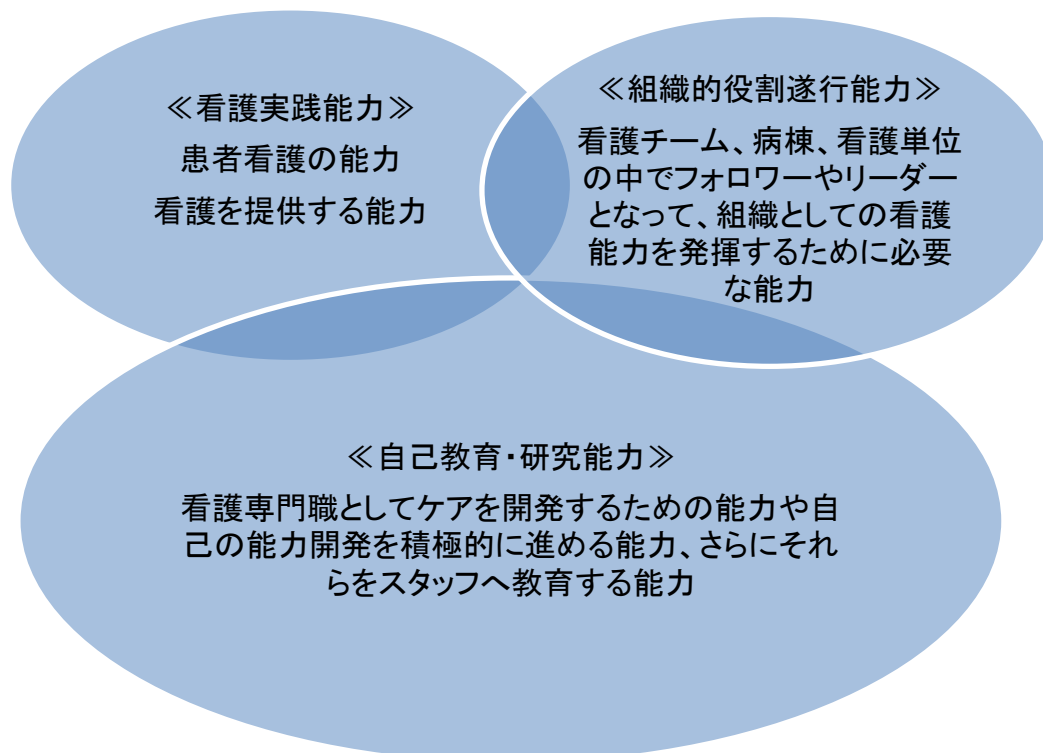
↓

各段階に期待される能力が示され、看護師の能力を客観的に評価したり、看護師や看護管理者が、お互いに各能力段階を意識しながら、自己研鑽や人材育成をめざすことのできるもの。

↓

各看護師が臨床実践において、求められている役割を明確にすることで、各々が主体的に行動でき、それらを客観的に評価できるツール

臨床実践能力とは



クリニカルラダーの目的

1. 看護師の臨床実践能力を評価し、能力向上への動機づけと、教育的サポートの基準にする
2. 看護師の職務満足度を向上させる
3. 看護師の個々のキャリア開発に役立てる
4. 自らの目標を上げ、臨床実践能力を高め自立した看護師をめざす

2013年5月作成

国保軽井沢病院

臨床実践能力習得段階表(クリニカルラダー)

到達目標

段 階	到 達 目 標
レベルⅠ 初任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的知識・技術・態度を理解し、安全、確実に業務を遂行できる 2. 病院及び看護の理念や、組織を理解し行動できる 3. チームメンバーとしての役割を認識し、指導下で実践できる 4. 基本的な看護過程の展開ができる
レベルⅡ 一人前	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自立して看護実践を安全・確実に提供できる 2. リーダー的役割や責務を理解することができる 3. 後輩に対して教育的関わりができる
レベルⅢ 中 堅	<ol style="list-style-type: none"> 1. チームリーダーとしての役割を遂行できる 2. リーダーシップが発揮できる 3. キャリアアップの必要性を理解し、自己啓発に努めることができる
レベルⅣ 達 人	<ol style="list-style-type: none"> 1. コーディネーターとしての役割が果たせる 2. 自ら判断し調整と管理的視野の必要性について理解し、実践できる 3. キャリアアップのために、主体的に自己研鑽できる 4. 個々のスタッフの能力開発ができる
管 理 師 長	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病院理念・看護部理念・基本方針に基づき、担当部署の運営管理ができる 2. 環境・労務管理ができ、常に働きやすい職場環境をつくることができる 3. 管理的視点で病院経営に参画できる 4. 看護の質向上のために、看護職員の能力開発を行うことができる

2013年5月作成

国保軽井沢病院

臨床実践能力習得段階一覧表

段階	レベルⅠ・初任者	レベルⅡ・一人前	レベルⅢ・中堅	レベルⅣ・達人
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的知識・技術・態度を理解し安全確実に業務を遂行できる 2. 病院及び看護の理念や、組織を理解し行動できる 3. チームメンバーとしての役割を認識し指導下で実践できる 4. 基本的な看護過程の展開ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自立して看護実践を安全・確実に提供できる 2. リーダー的役割や責務を理解することができる 3. 後輩に対して教育的に関わりができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. チームリーダーとしての役割を遂行できる 2. リーダーシップが発揮できる 3. キャリアアップの必要性を理解し、自己啓発に努めることができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. コーディネーターとしての役割を果たせる 2. 自ら判断し調整と管理的視野の必要性について理解し、実践できる 3. キャリアアップのために、主体的に自己研鑽できる 4. 個々のスタッフ能力開発ができる
看護実践能力	<ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち患者について看護記録のデータベースに沿って情報収集できる ・患者ニーズを把握し、指導を受けながら問題点をあげ計画立案できる ・看護手順を参考に正確・安全に実施できる ・指導を受けながら実践した看護が記録できる ・実施したケアについて正確に報告し、疑問点を明確にできる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立して基本的看護技術が実践できる ・受け持ち患者の状況を判断し、意図的に情報収集できる ・個別的で実践可能な計画がたてられる ・看護実践を正確に記録できる ・ケアの工夫ができる ・患者の状況に応じて評価修正できる ・受け持ち看護師として看護実践できる ・一定の時間内にケアが完了できる ・緊急時、指示を受けて速やかに行動できる ・患者・家族との円滑な人間関係を築くことができる ・問題を看護チームメンバーで共有できる ・優先順位を考慮し行動できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集の中で、患者の潜在的問題を抽出することができる ・的確に問題をあげ潜在する問題点を予測できる ・問題の優先度・緊急度を判断できる ・潜在問題、予測的問題に対する計画が立案できる ・必要時医療メンバーの力を活用できる ・適切な看護技術で患者のニーズに応じたケアが実践できる ・予測できる事態を考慮し、適切な観察ができる ・実行した看護を簡潔明瞭に記録できる ・自ら行った看護実践を振り返り評価・修正ができる ・看護過程・状況を把握し問題点・改善点を明確にできる 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターとしての役割が発揮できる ・教育的視点を持って調整、指導ができる ・看護記録の指導ができる ・患者・家族とのコミュニケーションを図り、周囲の人たちも含めて円滑で成熟した人間関係を築くことができる
組織的役割遂行能力	<ul style="list-style-type: none"> ・看護部の基本方針・部署目標が理解できる ・他者の考えや意見を尊重できる ・業務上の報告・連絡・相談を適切に行うことができる ・病院職員としての自覚を持ち、挨拶・身だしなみ電話対応ができる ・優先順位を考えながら決められた業務を実践できる ・インシデント事例や事故事例を速やかに報告できる ・感染対策について理解し、病院基準に従って実行できる ・患者の人権を尊重した行動ができる ・プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち看護師としての役割を理解し患者受け持ちができる ・カンファレンスでの患者情報を共有し看護実践に活用できる ・リーダーシップについて理解することができる ・部署において問題意識を持つことができる ・看護業務活動における経済的側面を意識し行動できる ・他部署との連携ができる ・患者を一個人として尊重し受容的・共感的態度で接することができる ・看護専門職として自覚し、責任ある行動ができる ・倫理問題に気づき、問題提起できる ・規律を守り、自立した行動ができる ・委員会に積極的に参加、活動できる ・提出物が期限内に提出できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護チームメンバーの調整役としての行動ができる ・自分の考えを根拠に基づいて説明できる ・部署目標達成のための活動を推進できる ・部署の現状を分析し、業務改善に取り組むことができる ・患者の生命や人権を意識・尊敬することによって倫理的側面が理解でき、他者への指導ができる ・看護における倫理の重要性について理解でき、指導できる ・規律を守る勤務ができ、他者へ指導できる ・委員会活動が積極的に行え、自部署で役割を果たすことができる ・提出物を期限内に提出できる ・緊急時にリーダーシップを発揮することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・部署の目標設定に主体的に参画し、目標達成に向けて具体策を創造・推進・評価することができる ・看護部、部署の目標を基盤とし、自己の役割を意識しながら積極的、具体的に活動できる ・病院経営を理解し、業務に反映することができる ・チームのモチベーションを高めることができる ・部署の問題を明らかにし、解決することができる ・患者の生命や人権を尊重し倫理実践水準を高めることができる ・病院、所属部署の規律保持ができ、他者への配慮ができる ・看護職員として規範的な姿勢と態度を自覚し、行動がとれる ・委員会活動の中で中心的な役割を果たすことができる ・提出物を期限内に提出できる
研究自己能力育	<ul style="list-style-type: none"> ・院内の教育プログラムに参加できる ・自己学習を行い、自らの看護実践に活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・未修得事項の知識、技術習得のために積極的に勉強会に参加できる ・後輩に対して、原理原則に基づいた指導ができる ・指導者(プリセプター)として役割が発揮できる ・症例発表ができる(ナラティブ) ・看護研究し院外で発表できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にあつた目標設定ができ、その実行に向けて学習できる ・自己の看護観を深めることができる ・看護研究のバックアップができる ・看護研究の成果を臨床に応用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップに積極的に取り組み、レベルアップを目指す ・スタッフの能力開発を支援できる ・看護研究の指導ができる ・スタッフ個々の能力を把握し、適切な指導ができる